LUNA

非常用電源装置

型名：ＢＵ２４１２０

取扱説明書

＝特長＝

通常時の電源も内蔵しており、通常時とバックアップ時の
電源供給がこれ１台で行えます。

外形寸法：230×180×50（mm）　重量：2.15（kg）
と小型です。

経済的なメンテナンス費用。
昇圧回路内蔵で、バッテリーの小型化に成功。

無接点切り替えの為、切り替え時の通電遮断がありません。

安定した直流 24V が供給出来ます。

■ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。

製造元：ルナライト株式会社
〒352-0011 埼玉県新座市野火止 4 丁目 19 番 71 号
TEL 048(478)9111(代表)
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.lunalite.co.jp

2017.9

安全のために必ずお守り下さい

●ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

■誤った取扱いをした時に生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 危険	誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されるもの。
⚠ 警告	誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをした場合、傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定されるもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

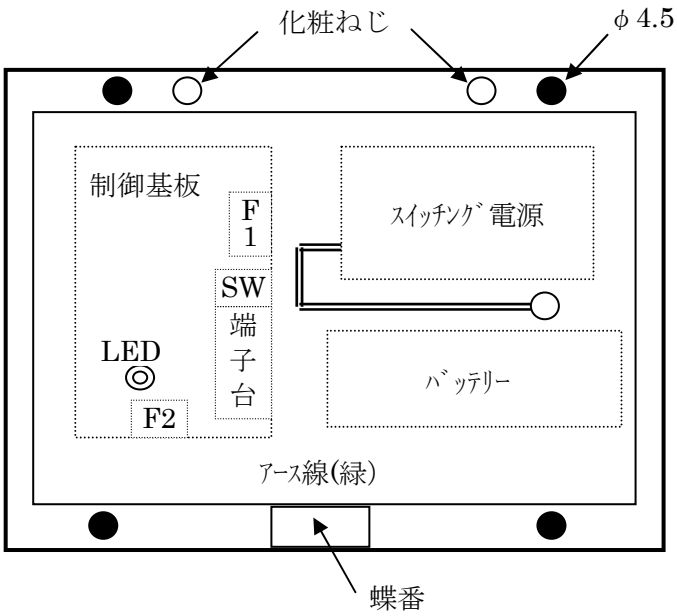
禁止	絶対におこなわないでください。
分解禁止	絶対に分解・修理はしないでください。
強制	必ず指示に従い、行ってください。

★バッテリーの取扱いについて	
⚠ 危険	
分解禁止	◆分解・改良はしないで下さい。 液漏れ・発熱・発火の原因となります。また、バッテリーに直接半田付けしないで下さい。 バッテリー内部の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けて下さい。そのままにしておくと失明などの事故原因となります。
禁止	◆火の中に入れたり、加熱しないで下さい。また、火のそば、ストーブの近く等の高温場所での使用・放置はしないで下さい。 液漏れ・発熱・発火の原因となります。
禁止	◆バッテリーの（＋）と（－）をショートさせないで下さい。また、金属製のネックレスや部品等と一緒に携帯・保管しないで下さい。 液漏れ・発熱・発火の原因となります。
禁止	◆バッテリーに強い衝撃を与えないで下さい。 液漏れ・発火・破損の原因となります。
強制	◆充電はバッテリー単体では行わないようにして下さい。 本製品状態以外の方法による充電は、発火・破損の原因となります。
⚠ 警告	
禁止	◆液漏れしたバッテリーを使用しないで下さい。また、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流して下さい。 そのままにしておくと、皮膚がかぶれるなどの傷害の原因となります。
強制	◆バッテリーが液漏れしたり、変形・変色・破損した時、またそれ以外に今までと異なることに気がついた時は、直ちに使用を中止して下さい。
禁止	◆バッテリーを水や海水につけたり濡らさないで下さい。 発熱・発火・感電の原因となります。
⚠ 注意	
禁止	◆幼児の手の届く場所には置かないで下さい。 けがなどの事故の原因となります。
禁止	◆湿気・直射日光などは避けて下さい。。 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所は故障（液漏れ・性能の劣化等）の原因となります。

概　要

本装置は、操作盤等の非常用に使用される非常用電源装置です。
通常時は商用電源（AC100V）を直流（24V）に変換し、バッテリーへの充電を行いながら負荷側への電力供給を行います。　また、停電時はバッテリーから負荷側へ電力を供給し、負荷側の無停電化を計る電源装置です。
<PSE>、RoHS 対応はしておりません。

各部の名称と働き



ｽｲｯﾁﾝｸﾞ電源：商用電源（AC）を直流電源（DC）に変換する装置。

制御基板　：停電時のﾊﾞｯﾃﾘｰﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ切り替え、ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧から出力電圧への変換、ﾊﾞｯﾃﾘｰ充電等を行う基板。

ﾊﾞｯﾃﾘｰ　：電気を蓄える部品。

LED　：動作確認用の表示ﾗﾝﾌﾟ。

F1, F2　：安全用の保護ﾋｭｰｽﾞ。

端子台　：入出力線接続用端子台。

SW　：電源ＳＷ

※カバー部に、銘板・バッテリー交換時期のシールが貼ってある事を確認する。

取付方法および接続方法

①２箇所の化粧ねじを外し、蝶番を支点にして本体カバーを下方向へ下げる。
②カバーを右方向へ移動し、カバーを完全に取り外す。
③図１の『●』の位置が装置の固定位置となっています。取付位置に合わせ、4mm のねじを使用し、しっかりと固定して下さい。
④装置固定後、入力側－接地、出力側－接地の絶縁抵抗(500Vﾒｶﾞｰ)を確認してください。
注意：本体がアースとなっております。
⑤電源 SW が『OFF』になっている事を確認する。
⑥図１の制御基板上の端子台に入出力線を接続する。
配線は基板上のシルク記号通りに行い、線径 1.25mm 以上の線に圧着端子を取り付け、端子台へ固定して下さい。（締付トルク：5～8kgf/cm）

⚠ **注意**	入力と出力の配線を間違わないように接続して下さい。万が一出力側に AC100V を投入した場合、本体の電子部品が破損し、発煙・発火を伴う可能性があります。

⑦電源 SW を『ON』にする。
⑧商用電源（AC100V）を投入し、LED が点灯する事を確認して下さい。
⑨カバーを取り付け、化粧ねじにてしっかり固定して下さい。
⑩バッテリー交換時期シールに、取付日より２年後の日付を記入して下さい。
⑪耐圧試験の際は、AC 入力部をショートし、必ず電源 SW を『ON』にして下さい。

⚠ **警告**	誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

本装置は、他電源との並列及び直列運転は出来ません。また、長時間の過負荷運転はお避け下さい。尚、出荷時のバッテリーは放電状態となっております。

日常点検

①カバー上から、LED が点灯している事を確認して下さい。
②バッテリーの液漏れ等が発生していないか確認して下さい。
③出力電圧（２４Ｖ）を確認して下さい。
④耐圧試験の際は、AC 入力部をショートし、必ず電源 SW を『ON』にして下さい。

故障かな？ とお思いの時は

★ＬＥＤが消灯 … 商用電源は入力されていますか？（電源を入れる）
★バッテリー液が漏れている … バッテリーを新しい物に交換する。
★停電時に電力が供給されない … ○電源ＳＷは『ON』になっていますか？
（電源ＳＷを『ON』にする）
○バッテリーの交換時期は過ぎていませんか？
（バッテリーを新しい物に交換する）

バッテリーの交換方法

⚠ 警告	誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

①２箇所の化粧ねじを外し、蝶番を支点にして本体カバーを下方向へ下げる。
②カバーを右方向へ移動し、カバーを完全に取り外す。
③電源ＳＷを『OFF』にする。
④バッテリー接続線（基板側のコネクター）を外す。
⑤バッテリー固定板のねじ（４箇所）を外す。
⑥古いバッテリーを外し、新しいバッテリーと交換する。
⑦バッテリー固定板でバッテリーを固定し、ねじで固定板をしっかりと固定して下さい。
⑧バッテリーの接続線（基板側のコネクター）を取り付ける。
注意：コネクタは（＋）と（－）の向きが決められています。本体にうまく接続出来ない時は無理に押し込むのではなく、（＋）（－）の向きを確認して下さい。
⑨電源ＳＷを『ON』にして下さい。
⑩カバーを取り付け、化粧ねじにてしっかり固定して下さい。
⑪商用電源（AC100V）を投入し、LED が点灯する事を確認して下さい。
⑫バッテリー交換時期シールに、取付日より２年後の日付を記入する。

・使用温度：高温や低温環境では、バッテリー容量が低下し寿命も短くなります。出来るだけ 5～35℃でご使用下さい。
・保管場所：予め３ヶ月以上の保存が予想される場合には、35℃以下で且つ放電状態の保存をお勧めします。また、３ヶ月以上経過した製品に対しては充放電作業を実施し、正常に電池が動作するか確認して下さい。
・自己放電：バッテリーは長期間放置しますと自己放電いたします。使用前に必ず充電して下さい。
・充電中にバッテリーが温かくなる事がありますが、異常ではありません。
・強い衝撃や落下等で破損した場合、端子間のショートや断線の原因となります。

◆バッテリーの寿命：充電・放電を繰り返すうちに、使用できる期間は徐々に短くなります。保持時間が最初に比べて３分の２程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーを購入願います。

❗ 強制	必ず指示に従い、行ってください。

このバッテリーは非常用電源（ＢＵ２４１２０）専用に作られております。これ以外の機器には使用しないで下さい。また、当バッテリーは一般市場にて販売されておりませんので、必ず販売元または製造元にご連絡の上、購入願います。
◆環境保護をはかるため、不要になったバッテリーは分別回収に出すか、販売元または製造元へお引き渡し下さい。
◆不明な点はご購入先または表紙部に掲載されている連絡先へお問い合わせ下さい。